

# 1912年創業 クラユニコーポレーション 津市



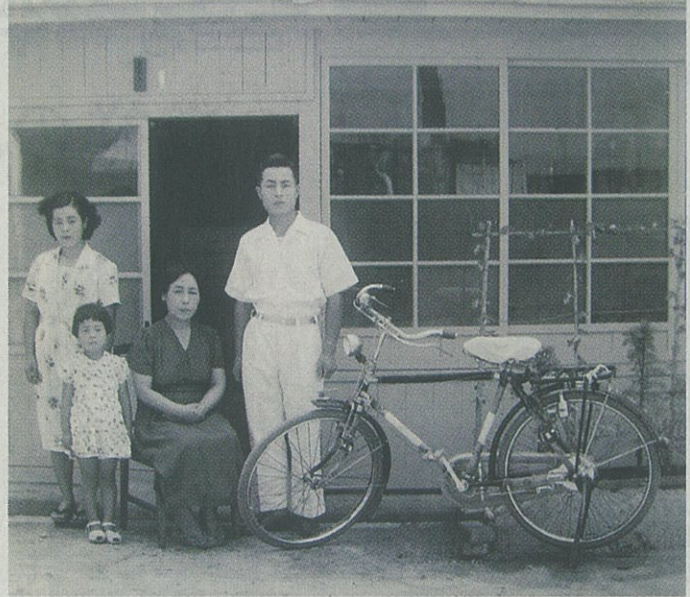
387

医療機関向けに、白衣の生産・販売を始めた。創業当初は、ミシンで白衣を縫っていた。自転車にリヤカーを取り付け、三重県内の医療機関に1件ずつ持ち込んで営業していた。「県内の国立病院は、ほ

## 医療機関向け白衣を展開 ニーズに合わせて制服提案

クラユニコーポレーション(本社津市中央)は、企業の制服や作業着の企画・生産・販売などを手掛け、小ロットにも対応している。本社に加え、四日市、伊勢、名古屋市内に支店を展開している。

創業は1912年(明治45)年。倉田政男氏が、津市岩田町で前身となる倉田商店をオープン。



1912年に白衣の販売を開始した

50年代に入ると白衣だけでなく、事務服や作業着などユニフォームの企画や販売を始め、業容を拡大した。64年には、需要の拡大や取扱商品の拡充で生産量が増加。津市に縫製工場を設置して、大量生産に乗り出した。

70年代に入るとユニフォームの代理店業も始めた。代理店部門は現在、売り上げの8割を占める主力事業となっている。

同社の強みは、提案力にある。顧客の要望にこたえるため、さまざまなカタログを用意し、ニーズにあった組み合わせを提案している。倉田専務は「種類やメーカーが異なる上着やズボンの組み合わせを提案し、顧客が求めるものを提供する」と話す。

一方、近年では銀行など金融機関の制服離れが加速している。金融機関は支店が多く、制服の受注は大きな売り



津市の現本社

### クラユニコーポレーションの歩み

1912年	津市岩田町で前身となる倉田商店を創業
1988年	現所在地に本社を移転
1994年	クラユニコーポレーションに社名変更
2012年	創業100周年
2015年	三重のおもてなし経営企業選を受賞

## 高いデザイン性、人手不足対策にも



世の中の流れを読む 4代目社長・倉田伸雄さん 世の中の流れに合わせて新しい商品やサービス、ビジネスモデルを開発するなど、持続・発展させる努力を怠らぬよう努めていきたい。

上げにつながる。同社では制服の良さを伝えるため、顧客にとって高付加価値で差別化された製品やサービスを提供している経営などを認定する「三重のおもてなし経営企業選」に応募し、2015年に受賞。ストレッチ性や強度、乾きやすさなど、高付加価値の制服を金融機関にアピールしている。

また、顧客満足度向上のため、12年にユニフォームのレンタルを始めた。「制服導入時の初期費用を抑えたい」という顧客のためのサービスだ。従業員が退職した際、制服の管理が必要がないと好評を得ている。契約期間内であればサイズ交換や補修も無料で行う。

今後、デザイン性の高い作業着や制服の提案に力を入れていく方針だ。同社が展開する作業着には、コートのようにおしゃれにできる商品がある。仕事が終われば、そのまま買物などに出掛けても違和感がない。「人手不足が大きな問題となっている企業に提案し、若者の採用につなげてほしい」と倉田専務。導入した顧客企業の中には、採用が増えたという声もあるという。